

令和5年3月2日

日野町議会議長 小谷博徳 様

日野町議会議員

梅林 敏彦



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の趣旨・背景	質問の要旨 (具体的に回答を求める事項)	質問の相手
<p>黒坂小学校の跡地活用について</p>	<p>日野学園の開校に伴って、この3月いっぱい黒坂小学校と日野中学校が閉校になります。特に黒坂地区においては、これまでの日野産業高等学校の閉校、黒坂中学校の閉校に続く3度目の閉校で、地区には学校がひとつも無くなってしまいます。町長はこのたびの施政方針において、小学校閉校によって「地域の活力が失われること」の危惧に触れられています。</p> <p>同様の危惧を抱く者として、そして、この危機に本気で対応すれば、逆に黒坂活性化の起爆剤に転化することが可能であると信じる者として、質問します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. まず、黒坂地区で生まれ育ち、黒坂小学校と黒坂中学校の卒業生でもある町長に、現在の黒坂地区の状況をどのような思いで見えておられるか、伺います。 2. 町では、黒小と日野中の跡地利用を検討する住民による委員会を立ち上げ、その報告書が昨年4月に町に提出されていますが、これに対する回答はどうなっていますか。 3. 黒小跡地活用については、今年度の当初予算に「リノベーションLabを開設する」とあり、390万円ほどが計上されています。この内容と目的をご説明ください。 4. 跡地を地域の拠点、すなわち地域住民が進んで集まる場所にするには、住民自身が「自分ごと」として主体的に動いていく機運を作り出すことが肝要です。それについてのお考えを伺います。 5. 日野町はこれまで、「学校を核とした地域づくり」を標榜してきました。そこで、伺います。すべての学校が無くなる黒坂地区においては、今後この標榜を降ろしてしまうのか。それとも、どうにか工夫して学校や子供を核とした地域づくりを続けていくのか。 6. 跡地の生きた活用をするには、町外・県外からの力を借りることも必要。教室はたくさんあるのだから、サテライトオフィスや個人事業所としての利用を呼びかけることを提案します。いかがですか。 	<p>町長</p>